

授業科目 臨床血液学実習 I

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	臨床
大山 富三、非常勤講師 他		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○		○	○	
【概要・一般目標：G10】 血液検査の測定原理やその臨床的意義を理解し、得られた結果から血液疾患を類推できる知識と技術を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全かつ正しく採血を行う。 2. 用手法から基本技術をマスターする。 3. 血球を正確に観察する。 4. 血球を観察し正しく分類・判定する。 5. 各種検査の原理及び臨床的意義を説明する。 6. 検査の基準値を列挙する。 7. 検査結果から疾患を分類・類推する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-4	末梢血薄層塗抹標本作成			1-2	講義・実習
5-8	末梢血普通染色標本作成および観察			2-4	講義・実習
9-10	赤血球数算定・Hb 濃度測定・Ht 値測定および赤血球指数			2-7	講義・実習
11-12	超生体染色（網赤血球）標本作成および観察			2-7	講義・実習
13-14	白血球数算定・好酸球数算定			2-7	講義・実習
15-16	ペルオキシダーゼ染色標本作成および観察			2-7	講義・実習
17-18	アルカリホスファターゼ染色標本作成および観察			2-7	講義・実習
19-20	エステラーゼ染色標本作成および観察			2-7	講義・実習
21-22	赤血球抵抗試験・赤血球沈降速度			2, 5-7	講義・実習
23	自動血球計数装置操作			5-7	講義・実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 血液検査学第3版	奈良 信雄 他	医歯薬出版	2010・5,400円＋税
		血液細胞アトラス 第5版	三輪 史朗、渡辺 陽之輔	文光堂	2005・9,000円＋税
参考書					
その他の資料		配布資料			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
定期試験 70%程度 レポート 30%程度		上記「授業計画」の項目が変更になる場合もあるので、予め承知しておいてほしい。 臨床技術者にとって重要な臨床科目であるため、知識は勿論のこと技能についても習熟すること。形態観察の際には、アトラスおよびスケッチブックと色鉛筆が必要となる。なお、レポートは全て提出することで評価対象となる。			